

広東語の終助詞に関する考察 ～システミック言語学の視点から～

チャン・アキオ・カ・チェン

1. はじめに

1.1. 研究動機

広東語というのは、香港、マカオ、中国の広東地方などで話される言葉である。広東語は終助詞の数が多く、それらの多くが話者の感情や態度を表す機能を持ち、日常会話では頻繁に使われる (Leung, 2010)。広東語の終助詞は広東語を学ぶ日本人にとって習得が難しい存在である。なぜなら、広東語の終助詞の数が多くて、それぞれがどんな意味を持っているかよく解説されてこなかったためである。次の例を見ていただきたい。

[1] 呢個蛋糕好味呀[aa4]¹? (このケーキおいしいの?)²

[2] 呢個蛋糕好味咩[me1]? (このケーキおいしいの?)

[1] と [2] は二つともケーキがおいしいかどうかについて聞いている疑問文であるが、話者はケーキがおいしいという情報を得ていて、それが正しいことを確認している場合「呀[aa4]」を用い、疑いながら聞く場合「咩[me1]」を用いる。終助詞の違いによって、文の意味合いが違って来る。よって、終助詞の使い間違いによって、意思疎通が阻害されることもあり得る。このような状況にもかかわらず、残念ながら、日本においても広東語の終助詞研究は行われているが、説明が抽象出来であったり、分析的視点が曖昧だったりしており、また広東語の終助詞に対する体系的アプローチが欠けているため、広東語を学ぶ日本人に広東語がとってわかりづらい状況が発生していると思われる。その上で、本稿では、中嶋 (1981) の終助詞分析を議論の出発点として、最終的にはシステミック言語学の枠組みを Wong (2009) から借りて広東語の終助詞が具現する機能の包括的解説を行う。

2. 先行研究

従来、広東語の終助詞はともかく、日本語での広東語の文法研究はあまり盛んでなく、参考になれる資料が少ない。中嶋 (1981: 133-142) は『広東語四週間』で広東語の終助詞の機能を記述しているが、明白でない。そこで本稿では次の 5 つの特徴に着目することで広東語

¹ 論文末の資料を参照のこと。

² 特に注釈を入れられない限り、例文の翻訳は筆者が訳したものである。

の終助詞記述は明確になることを例証する。即ち、(1)感情強調型終助詞の存在、(2)アスペクト強調型終助詞の存在、(3)一般疑問、理由疑問、確認疑問強調型終助詞の存在、(4)、断定、認識強調型終助詞の存在(5)強い命令、柔らかい命令、注意強調型終助詞の存在、の5つである。『広東語四週間』では終助詞について言及しているが、体系的にまとめておらず、また説明に誤りがあると思われる個所がある。以下、上記5点を簡単に説明する。

2.1. 感情強調型終助詞に対する認識の違い

中嶋(1981:34)は次の例文を提示し、説明をしている。

[3] 呢本唔係你嘅書囉? (これはおまえの本じゃないのか?)

中嶋(1981:34)は以上の囉[lo1]について次のように説明している。

“囉 lo”は感情をあらわに出したい強い語気をとまなう助詞。“呢本[唔係]你嘅書?”〈これきみの本じゃない? (“書”は高昇調の音調をとる)〉にはそのような語気はない。

しかし、中嶋(1981:34)が述べた囉[lo1]についての説明は誤っている。まず、囉[lo1]は疑問文では使われず、陳述文のみに使える(Wong, 2009)。中嶋(1981:135)も指摘しているように、「囉は反発や非難の語気をあらわす」という機能を持っているので、例文[3]は、「あなたの本ではない」ということを強調し、「あなたの本ではないのになぜ勝手に読むの?」など不満や非難の語気を表している。よって、例文[3]は「これはおまえの本じゃないのか?」のような一般的な疑問文ではなく、「これはおまえの本じゃないよ」と訳すべきものである。中嶋(1981:34)は感情強調型終助詞である囉[lo1]を無感情的な疑問詞だと勘違いしたため、このような誤訳が生じたと考えられるのである。

次に、啦[laa1]についての説明を見てみよう(中嶋, 1981:135)。

“啦 la”は、丁寧な依頼、示唆の語気をあらわす。

確かに、啦[laa1]は親切な態度で依頼・勧誘・示唆することができるが、この感情強調型終助詞はじれったいという気持ちで命令していることを表すこともできる。しかし、中嶋(1981:135)は後者には言及していない。後者の用法を知らないと、無礼な表現になることがあるた

め、後者に言及していないことは看過できない。

2.2. アスペクト強調型終助詞の存在の無視

中嶋（1981: 70）は唸[laa3]について以下のように述べている。

文末に置かれる助詞の“唸 la”は状況の変化に対する確認を示すはたらきがある。

Wong（2009: 50）は、唸[laa3]はアスペクトを表す文と一緒に使われると述べているが、中嶋はアスペクトについて触れていない。これが理解できていないと、なぜ唸[laa3]が動作の開始、継続、完了を表す文で使われるかがわからないだろう。

2.3. 一般疑問、理由疑問、確認疑問強調型終助詞の存在の無視

𠵼（呀[aa4]）³について中嶋（1981: 27）はこう説明している。

“呢”・“𠵼”はともに疑問をあらわす助詞である。（中略）“𠵼”はすでに他から情報を得ていて、その事例について念を押して問うときに用いられる。

広東語には何種類かの疑問文があり、𠵼（呀[aa4]）はそのうち特定の疑問文にしか用いられない。少なくとも、広東語の疑問文は一般疑問、理由疑問、確認疑問の3つに分類できることがわかっていないと、𠵼（呀[aa4]）の意味は説明できない。中嶋（1981）はこういった点に言及していない。

2.4. 断定、認識強調型終助詞に対する認識の違い

啊[aa3]についての説明を見よう（中嶋 1981: 133）。

“呀 a”（啊[aa3]）には、基本的に、相手の注意を喚起するはたらきがあり、①疑問 ②断言 ③祈求 ④驚き ⑤強調 ⑥列挙 ⑦停頓の語気をあらわす。

中嶋（1981: 133）は以下の例を挙げている。

³ 中嶋は[aa4]と発音する終助詞を「𠵼」だと書いているが、Wong（2009）は「呀」だと書いている。この論文では、𠵼は[aa1]と発音することになっている。

[4] 你般住冷親呀。(きみ風邪ひくなよ。)(祈求)

[5] 有賊呀。(どろぼうだ)(驚き)

啊[aa3]の機能は語気の和らげだけであって、祈求、驚き、強調などの語気は、終助詞の前に来る文の意味内容に含まれている。そのため、[4]や[5]などの文では終助詞がなくても祈求や驚きの語気が含まれているのである。

2.5. 強い命令、柔らかい命令、注意強調型終助詞に対する認識の違い

吔[aa1]について中嶋(1981:134)はこう説明している。

吔 a には、①幾分のぞんざいな依頼や示唆…(中略)…をあらわす。

Wong(2009)によると、吔[aa1]は穏やかで柔らかく依頼する、示唆するときを使う終助詞であるため、ぞんざいな依頼や示唆の語気はないという。

本文ではこれら5点について詳細に論じていくことになる。

3. 研究目的

本研究の目的は二つある。一つは、『広東語四週間』における終助詞の解釈の訂正を行い、広東語の終助詞のシステムネットワークを立て、システムック言語学に貢献することである。システムック言語学の視点から見ると、広東語の終助詞は対人機能に関わるものが非常に豊富である。ただ、Wong(2009)は、広東語の終助詞のシステムネットワークを立て、広東語には観念構成機能、対人機能、テキスト構成機能、三つに分かれていると述べているが、本稿では対人機能のみを考察していきたいと思う。

もう一つの目的は、広東語の終助詞が日本語のどういった意味と対応するのかを調べ、日本人から見た広東語の理解を深め、広東語を日本語に、あるいは、日本語を広東語に訳すときに役立つ情報を提供することである。

4. 研究方法

本稿では、システムック言語学の対人機能の観点から30個の広東語の終助詞の用法を分析しなおし、『広東語四週間』の終助詞の解釈を訂正する。終助詞の解釈修正に際してはWong(2009)で提案されている広東語の終助詞のシステムネットワークをフレームワークとして採用し、更に精巧なシステムネットワークを提案する。観察対象の終助詞は『広東語四週間』及び香港のドラマ『愛回家』から選定した。『愛回家』はホームドラマで、そこで使われる終助詞は実際に家庭や職場で使うものであるため、会話が自然で、よってそこで使われ

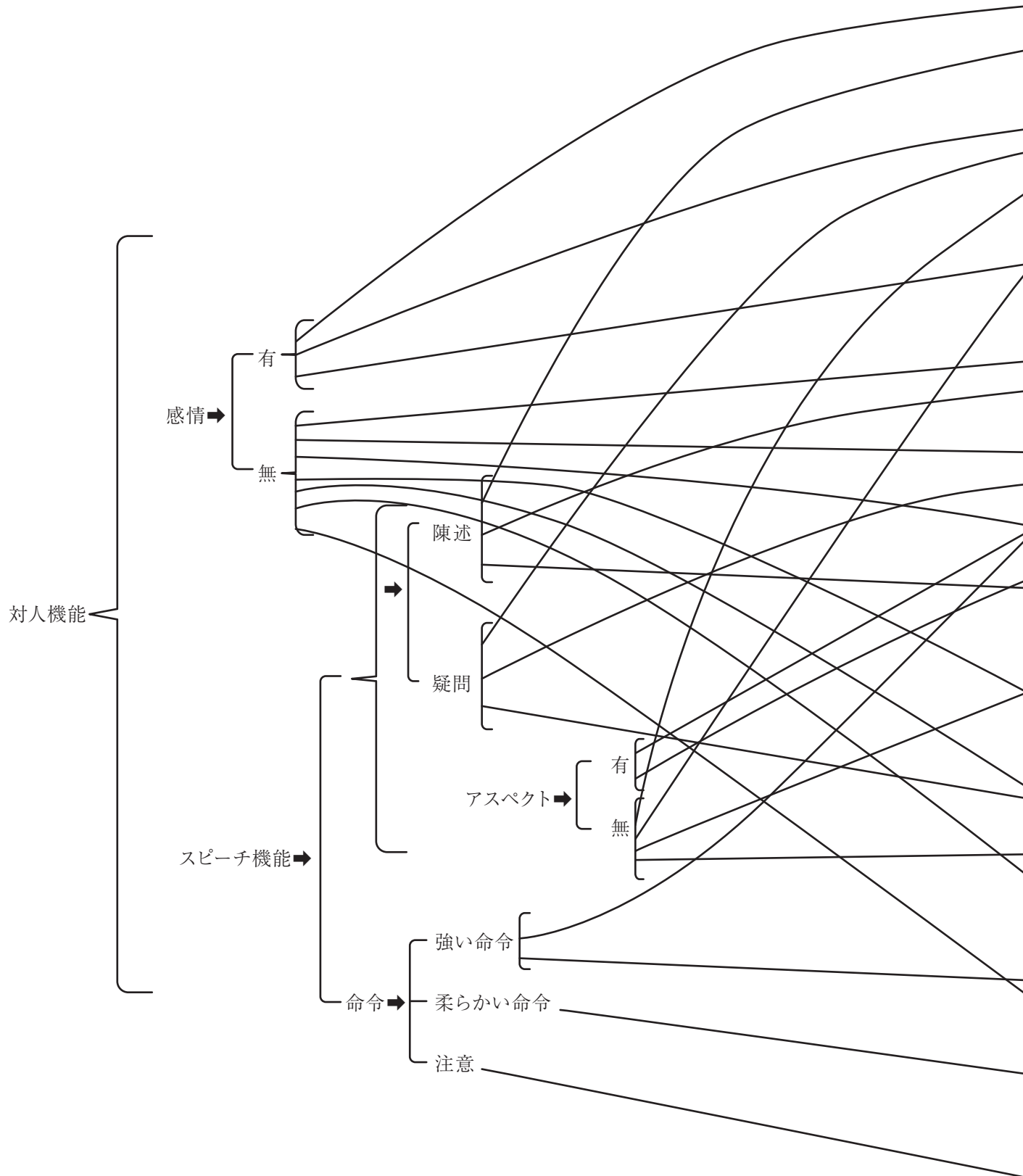
ている終助詞の用法も自然であるからである。また、本稿では、広東語終助詞の解釈に当たって Ding (2013)、Leung (2010)、Matthews & Yip (2000) も参考している。

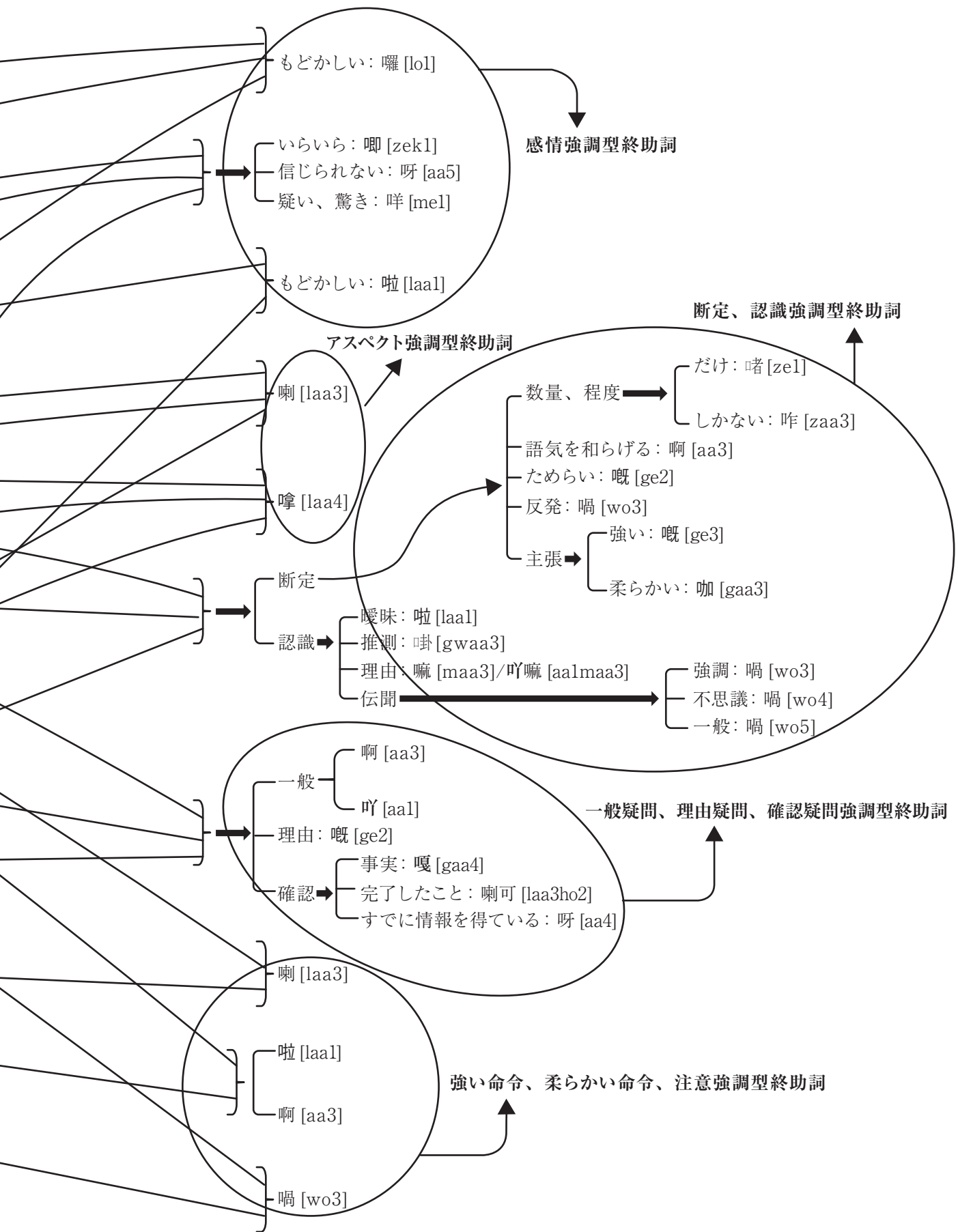
本稿で提案されるシステムネットワークは感情とスピーチ機能に焦点を置いて構築されたものであるが、前節で示唆した五つのクラスターに分かれているところに特色がある。即ち、終助詞の記述は (§2.1) 感情強調型終助詞、 (§2.2) アスペクト強調型終助詞、 (§2.3) 断定、認識強調型終助詞、 (§2.4) 一般疑問、理由疑問、確認疑問強調型終助詞、 (§2.5) 強い命令、柔らかい命令、注意強調型終助詞の五つのクラスターである。以下、ここに示されたクラスターの順番で広東語の終助詞の用法を説明していく。なお、アスペクトに関して Comrie (1976) はアスペクトを一つの出来事の内部的時間の構成要素を違った見方で見るものだと定義しているが、本稿ではアスペクトをある動作の開始、継続、完了を意味する概念として用いることにする。

5. 広東語の終助詞の機能

図1のシステムネットワークで示されている通り、広東語の終助詞はまず感情とスピーチ機能の観点から分類することができる。さらに、広東語の「陳述」は「断定」と「認識」に分けられ、疑問はさらに「一般疑問」、「理由疑問」、「確認疑問」に分けられ、「命令」はさらに「強い命令」、「柔らかい命令」、「注意」に分けられる。ここでは、5.1 感情強調型終助詞、5.2 アスペクト強調型終助詞、5.3 断定、認識強調型終助詞、5.4 一般疑問、理由疑問、確認疑問強調型終助詞、5.4 断定、認識強調型終助詞、5.5 強い命令、柔らかい命令、注意強調型終助詞という順番で説明していく。

図1. 対人機能システムネットワーク





5.1. 感情強調型終助詞

ここで扱う終助詞は陳述、疑問、命令に対して感情的なニュアンスを加える働きを持つ。

5.1.1. 囉[lo1]

囉[lo1]について中嶋（1981: 135）はこう説明している。

“囉” lo は反発や非難の語気をあわらす。

Wong（2009: 65）によると、囉[lo1]は陳述文に使われ、もどかしさや歯がゆさを表し、相手を非難する意味合いを持つという。答えが明らかなこと、あるいは、理解しやすいことなのに相手が理解できないため、文句を言うときに使う。日本語の「～よ」に対応すると考えられる。

[6] <A が友達 の B に聞く >

A: 你識游水咩? (君泳げるの?)

B: 我識囉。(もちろん)泳げるよ。)

[6] では、A は B が泳げるかどうかを疑っており、B は自分が明らかに泳げることをなぜ A が知らないのかと文句を言っているのであるが、終助詞囉[lo1]は A の言動に対するもどかしさあるいは非難の意味を表している。

5.1.2. 啣[zek1]

中嶋はこの終助詞について言及していない。啣[zek1]は疑問文に使われ、いらいらするという気持ちを表す。対応する日本語は「っていの?」「～んだよ?」だと考えられる。

[7] <女性 は男性 に怒っているが、男性は無言で女性の手を引っ張って歩いている >

女性: 你究竟想點啣? (一体どうしたいっていの?)

男性: 我想你唔好再𨀖咋。(もう怒らないでほしいだけだよ。)

女性は啣[zek1]を使うことで、自分は怒っているのに男性は無言のまま自分の手を引っ張って歩いているだけの状況に対していらいらしていることを表している。

5.1.3. 呀[aa5]

中嶋はこの終助詞について言及していない。呀[aa5]は疑問文に使われ、あることについて信じられないという気持ちを表す (Ding, 2013)。対応する日本語は「よね」だと考えられる。

[8] <Aは自分が大学に入れたことを友達のBに伝える>

A: 我入左大學呀。(僕大学に入ったよ。)

B: 唔係呀? 你都入到大學呀? (ウソ(だよね)? 君(みたいな人)が大学に入れたの?)

「唔係」は「じゃない」という意味で命題(大学に入ったということ)は省略されている。「唔係呀」を直訳すると「じゃないよね」になるが、この状況で日本語で返事すると、「ウソ」の方が自然である。

5.1.4. 咩[me1]

咩[me1]について中嶋(1981: 136)はこう説明している。

“咩” me は、どう考えてもその可能性がありそうには思えないというような強い疑いと驚きをあらわす語気をもつ。

咩[me1]は疑問文に使われ、疑ったり驚いたりするときに使われる (Matthews & Yip, 2000: 457)。日本語の「～のか」に対応すると考えられる。

[9] <Aが友達のBに聞く>

A: 木村拓哉係邊個嚟咖? (木村拓哉って誰?)

B: 你唔識佢咩? 佢咁出名。(彼のこと知らないのか? 有名なのに。)

5.1.5. 啦[laa1]

中嶋はこの終助詞について言及していない。啦[laa1]は命令文に使われ、もどかしさ、歯がゆさを表す (Wong, 2009: 49)。対応する日本語は「～しろよ」「～してよ」と考えられる。

[10] <兄と弟は出かけなければならないが、弟がまだ準備ができてなくて、兄は弟を急かしている>

兄: 冇時間喇, 快啲啦! (時間ないから、速くしろよ!)

弟: 知道喇。(わかったよ。)

5.2. アスペクト強調型終助詞

この節で取り扱う終助詞は陳述文と疑問文で使われる終助詞である。

5.2.1. 喇[laa3]

中嶋 (1981: 70) は喇[laa3]について以下のように述べている。

文末に置かれる助詞の“喇 la”は状況の変化に対する確認を示すはたらきがある。

しかし、Wong (2009: 50) は、喇[laa3]は陳述文に使われ、三つの異なる機能を持つと述べている。この終助詞を使うとき、文章にアスペクトのエLEMENTが入っていれば、それを強調する。一方、アスペクトのエLEMENTがなければ、この終助詞がアスペクトを表す。

5.2.1.1. 状況の開始を強調する

喇[laa3]の一つ目の機能は、ある特定の状況の開始を強調することである。対応する日本語はコンテキストによって違う。

[1 1] <子供が母親に言う>

子供：我 唔 想 食 喇。

私 ない たい 食べる 終助詞

(もう食べたくない。)

母親：咁就咁放喺度啦。(じゃ、そのまま残しといて。)

例文 [1 1] の終助詞以外の部分にはアスペクトを具現するELEMENTが入っておらず、終助詞喇[laa3]がアスペクト(開始)を表しそれを強調することになる。もしこの終助詞が入っていなければ、「食べたくない」という意味になるが、喇[laa3]を入れると、ずっと食べていたが、「食べたくない」という状況が今始まったことを強調することになる。

5.2.1.2. 状況の継続を強調する

喇[laa3]の二つ目の機能は、ある特定の状況の継続を強調することである。対応する日本語は「もう～ているよ」と考えられる。

[1 2] <母親と子供が電話で話す>

母親：你煮左飯未啊？(ごはん作った?)

子供：煮 好 啦。 我 已經 食 緊 喇。
作る 終わる 終助詞 私 もう 食べる ている 終助詞
(作り終わったところか、もう食べてるよ。)

[12] の子供の発言には喇[laa3]の前にアスペクトの要素「緊(ている)」(継続)が入っている。この場合、喇[laa3]はアスペクトを表すのではなく、今の状況が継続していることを強調することになるのである。

5.2.1.3. 状況の完了を強調する

喇[laa3]の三つ目の機能は、ある特定の状況の完了を強調することである。対応する日本語は「もう～たよ」だと考えられる。

[13] <母親と子供が電話で話す>

母親：有冇好好食飯啊？(ごはんちゃんと食べてる？)

子供：我 食 完 喇。
私 食べる 終わる 終助詞
(もう食べ終わったよ。)

[13] の子供の発言には終助詞の前にアスペクトの要素「完(終わる)」(完了)が入っている。このため、喇[laa3]はアスペクトを表すのではなく、「食べる」という行為が終わったことを強調することになるのである。

5.2.2. 噏[laa4]

中嶋はこの終助詞について言及していない。噏[laa4]は喇[laa3]と同じくある特定の状況の開始、継続、完了を表す文において使われるのであるが、これらの文を疑問文に変える時に噏[laa4]が使われる。アスペクトを持つ文を疑問文に変える時には、この終助詞しか使えない。

[14] <母親が子供に聞く>

母親：你 唔 想 食 噏？
あなた ない たい 食べる 終助詞
(もう食べたくないの？)

子供：唔，我唔想食喇。(うん、もう食べたくない。)

[14] の母親の発言には噂[laa4]以前にアスペクトのエLEMENTが入っていないため、噂[laa4]自体がアスペクト（この場合は開始）を表す。もしこの終助詞がなければ、「食べたくないの？」と訳せるが、噂[laa4]を入れれば、今までずっと食べていたが、今食べたくない状況が始まったのかと聞くことになる。

[15] <母親が子供に聞く>

母親：你 食 緊 噂？
あなた 食べる ている 終助詞
(もう食べてるの?)

子供：唔，我已經食緊喇。（うん、もう食べてるよ。）

[15] の母親の発言には噂[laa4]以前にアスペクトのエLEMENT「緊（ている）」（継続）が入っているため、噂[laa4]自体がアスペクトを表すのではなく、今起こっている状況の継続を強調して聞いていることになる。

[16] <母親が子供に聞く>

母親：你 食 完 噂？
あなた 食べる 終わる 終助詞
(もう食べ終わったの?)

子供：唔，我食完喇。（うん、もう食べ終わったよ。）

[16] の母親の発言には噂[laa4]以前にアスペクトのエLEMENT「完（終わる）」（完了）が入っているため、噂[laa4]はアスペクトを表すのではなく、食べるという状況が終わったことを強調して聞いていることになる。

5.3. 断定、認識強調型終助詞

ここで扱う終助詞は陳述文に使われ、意見や考えを述べる機能を持つ。

5.3.1. 断定

5.3.1.1. 数量、程度

5.3.1.1.1. だけ

中嶋（1981: 137）は睹[ze1]について以下のように述べている。

“啫” ze は、数量や程度がわずかであるという語気をあらわす。

啫[ze1]は陳述文に使われ、数量や程度がわずかであることを表す (Matthews & Yip, 2000: 467)。対応する日本語は「だけ」「ただ」だと考えられる。

[17] 唔洗咁嬲喎，問下啫。(そんなに怒らなくても…ただ聞いてみただけだよ。)

5.3.1.1.2. しかない

中嶋 (1981: 137) は咋[zaa3]について以下のように述べている。

“咋” ja は“啫” ze と軽い感嘆をあらわす“呀”a とが縮約した形式であり…

咋[zaa3]は陳述文に使われ、数量や程度がそれ以上には及ばないという意味を持っている (Wong, 2009: 57-58)。対応する日本語は「しかない」だと考えられる。

[18] 剩返5分鐘咋。(5分しか残ってないよ。)

5.3.1.2. 語気を和らげる

中嶋 (1981: 133) は啊[aa3]について以下のように述べている。

“呀 a” (啊[aa3]) には、基本的に、相手の注意を喚起するはたらきがあり、①疑問 ②断言 ③祈求 ④驚き ⑤強調 ⑥列挙 ⑦停頓の語気をあらわす。

啊[aa3]は陳述文に使われ、語気を和らげる機能を持っている (Wong, 2009: 62)。この終助詞は広東語の終助詞の中で最もよく使われる終助詞の一つであり、経験的機能における意味 (あるいは認知的意味) は具現しないが、話し手が相手とコミュニケーションの意思があることを示す働きがあるため、使わないと不自然な文になってしまう。

[19] <A が友達の B に言う>

A: 呢個蛋糕好好味啊。(このケーキおいしいよ。)

B: 係咩? 咁等我試下先。(そうなの? じゃ、食べてみよう。)

「呢個蛋糕好好味」という文に啊[aa3]を付けないと、相手の反応を期待しない無感情の文となり、相手とコミュニケーションの意思がない文を作ってしまうことになる。啊[aa3]はそんな無感情の語気を和らげて、相手とコミュニケーションの意思があることを示すのである。尚、啊[aa3]は相手が自分のもつ情報と同質あるいは異質な情報を持っているかどうかを吟味する機能を持たないので、対応する日本語は「よ」でも「ね」でもよいことになる。

5.3.1.3. ためらい

中嶋はこの終助詞について言及していない。嘸[ge2]は陳述文に使われ、不確実さ、疑い、ためらいを表す (Matthews & Yip, 2000: 460)。日本語の「けど」と対応すると考えられる。この終助詞を使った文の後ろには何かを付け加えることが多い。

[20] <Aが友達のBに聞く>

A: 佢唔係壞人嚟㗎可? (彼って悪い人じゃないよね?)

B: 佢唔係壞人嚟嘅。不過… (悪い人じゃないけど。でも…)

Bは「彼」が悪い人ではないと思っはいるが、嘸[ge2]を使うことによって、確信を持っておらず、それ以外に何かまだ付け加えることがあることを示している。

5.3.1.4. 反発

中嶋はこの終助詞について言及していない。嗶[wo3]は陳述文に使われ、相手の予想に反することを言っていることを示す (Wong, 2009: 63)。日本語の「よ」に対応する場合が多いと考えられる。

[21] <Aが友達のBに言う>

A: 聽講你去過留學嗰。(留学したことあるって聞いたんだけど。)

B: 唔係啊, 冇嗰。(ううん、ないよ。)

AはBが留学したことがあると思っていたが、Bは実際留学したことがなくて、嗶[wo3]を使うことによって、Aが思っていることの逆(留学したことがないのに、なぜ留学したと言うの?あるいは、誰から聞いたの?)ということを使う。

5.3.1.5. 主張

5.3.1.5.1. 強い主張

中嶋 (1981: 134) は嘸[ge3]について以下のように述べている。

“嘅” ge や “嚟嘅” leih ge には事実を説明したり、確認したりする語気がある。

嘅[ge3]は陳述文に使われ、事実を説明したり、主張したりする機能を持っている (Matthews & Yip, 2000: 459)。日本語の「～のだ」「～んだ」に対応すると考えられる。

[2 2] <A が友達 の B に聞く>

A: 呢本書係邊個送你㗎? (この本は誰がくれたの?)

B: 係朋友送我嘅。(友達がくれたんだ。)

[2 2] では、B は「この本」は友達がくれたという事実を説明しているのである。

5.3.1.5.2. 柔らかい主張

中嶋はこの終助詞について言及していない。咖[gaa3]は陳述文に使われ、嘅[ge3]と同じく事実を説明したり、主張したりする機能を持っているが、Wong (2009: 53) によると、嘅[ge3]より柔らかい感じを与えるという。日本語の「～のだよ」「～んだよ」に対応すると考えられる。

[2 3] <女性が男性に聞く>

女性: 點解你要講大話啊? (なんでうそをついたの?)

男性: 我唔係有心去隱瞞你㗎。(君を騙す気はなかったんだよ。)

[2 3] では、男性は女性を騙す気はなかったということを柔らかく主張しているのである。

5.3.2. 認識

5.3.2.1. 曖昧

中嶋はこの終助詞について言及していない。啦[laa1]は陳述文に使われ、曖昧な答え方を示す (Wong, 2009: 48)。日本語の「まあ」に対応すると考えられる。この「曖昧な答え方」は謙遜と相手の言うことに対して答えたくないという2つの意味を表すことができる。

[2 4] <A が友達 の B に言う>

A: 做得好好呀! (よくできたじゃん!)

B: OK 啦! (まあね!)

啦[laa1]を使うことによって、曖昧な答え方をしていることを示しており、BはAの言ったことに対して謙遜していると解釈することもできれば、Aの言ったことに対して答えたくないと思っていると解釈することもできる。

5.3.2.2. 推測

中嶋 (1981: 136) は啱[gwaa3]について以下のように述べている。

“啱” gwa は、そうではないと推量する語気をあわらす。

啱[gwaa3]は陳述文に使われ、話者の主観的な考えや不確実な推量を示す (Wong, 2009: 56)。対応する日本語は「よね」だと考えられる。

[25] <Aが友達のBに言う>

A: 呀C仲唔嚟嘅。(Cまだ来てないなあ。)

B: 佢唔會而家先曳底啱。(彼今更ドタキャンしないよね。)

Cがまだ来てないことに対して、啱[gwaa3]を使うことによって、Bはドタキャンする可能性があるかどうかを推測しているのである。

5.3.2.3. 理由

中嶋 (1981: 137) は吖嘛[aa1maa3]について以下のように述べている。

“吖嘛” a mah は理由を説明する語気をもつ。

嘛[maa3] / 吖嘛[aa1maa3]は陳述文に使われ、明白な理由を説明する機能を持っている (Wong, 2009: 56-57)。Matthews & Yip (2000: 464) によると、嘛[maa3] / 吖嘛[aa1maa3]には「知っているべき」だというニュアンスが含まれているという。対応する日本語は「だもん」「だもの」だと考えられる。

[26] <Aが友達のBに聞く>

A: 點解啲女仔咁鍾意福山雅治嘅? (どうして女性たちは福山雅治のことが好きなの?)

B: 咁佢好靚仔呀嘛。(だって、彼イケメンだもん。)

福山雅治がイケメンであることをAが知っているべきだとBは思っているのである。

5.3.2.4. 喞[wo3]

中嶋はこの終助詞について言及していない。Matthews & Yip (2000: 465)によると、喞[wo3]は陳述文に使われ、注目すべきことを強調して他人に伝えるときに使う終助詞だという。日本語の「ってよ」に対応するが、このような訳だと、喞[wo3]が何かを強調しているというニュアンスが失われてしまう。

[27] <Aが友達のBに言う>

A: 今晚煮呀C鍾意食嘅餸先。(今晚Cが好きな料理を作ろう。)

B: 佢話今晚唔食飯喞。(彼今晚ご飯食べないってよ。)

[27]のBの発言で、喞[wo3]は、今晚Cがご飯を食べないということを強調し、彼が好きな料理を作っても食べてくれない、無駄だというニュアンスを表している。

5.3.2.5. 喞[wo4]

中嶋はこの終助詞について言及していない。喞[wo4]は、陳述文に使われ、伝聞の内容について不思議に思う場合に用いられる(Ding, 2013)。日本語の「って」「という」に対応するが、日本語で伝聞を表すにはイントネーションで不思議な気持ちを表すのではないであろうか。

[28] <Aが友達のBに言う>

A: 佢話今晚唔食飯喞。(彼今晚ご飯食べないって。)

B: 點解呢可?(なんでだろ?)

[28]のBの発言で、喞[wo4]は、なぜ彼は今晚ご飯食べないのかが分からないというニュアンスを示しているのである。

5.3.2.6. 喞[wo5]

中嶋(1981: 136)は喞[wo5]について以下のように述べている。

“喞” woh には伝聞をあらわす語気がある。

嗶[wo5]は陳述文に使われ、一般の伝聞を表す (Ding, 2013)。対応する日本語は「って」「という」だと考えられる。

[29] <Aが友達のBに言う>

A: 佢話今晚唔食飯嗶。(彼今晚ご飯食べないって。)

B: 咁我地兩個食啦。(じゃ、僕たち二人で食べよう。)

5.4. 一般疑問、理由疑問、確認疑問強調型終助詞

ここで扱う終助詞は一般的な疑問文、理由を聞く疑問文、確認する疑問文に使われるものである。

5.4.1. 一般

5.4.1.1. 啊[aa3]

啊[aa3]は疑問文に使われ、陳述文に使われるときと同じく語気を和らげるという機能を持っている。対応する日本語は「の」、「か」だと考えられる。

[30] 呢個蛋糕好唔好味啊？(このケーキおいしいの?)

終助詞を使わずに「呢個蛋糕好唔好味？」だけでも自然な疑問文になるが、啊[aa3]を使うことによって語気を和らげ、より柔らかい言い方になる。

5.4.1.2. 吖[aa1]

中嶋はこの終助詞について言及していない。吖[aa1]は疑問文に使われ、啊[aa3]と同じく語気を和らげるという機能を持っているが、(Matthews & Yip, 2000: 455)によると、啊[aa3]より少しためらいの語気があるという。対応する日本語は「の」、「か」だと考えられる。

[31] 今晚想唔想去食飯吖？(今晚ご飯食べに行きたい?)

[31]も終助詞を使わずに「今晚想唔想去食飯？」だけでも自然な疑問文になるが、吖[aa1]を使うことによって語気を和らげ、より柔らかい言い方になる。

5.4.2. 理由

嘅[ge2]は疑問文に使われ、「どうして、なんで」など理由を表す語の疑問と共に使われる(Wong, 2009: 55)。この終助詞は驚きや意外性があったり、困惑したりする時に使われる。対応する日本語は「の」、「か」だと考えられる。

[3 2] <学生が先生に聞く>

学生：點解個答案會變成咁嘅？（なんで答えはこうなるの？）

学生は答えがなぜそのようになったのかわからなくて、先生に聞いているのである。

5.4.3. 確認

5.4.3.1. 事実

中嶋（1981: 134-135）は嘎[gaa4]について以下のように述べている。

“㗎” gah は“嘅” ge と“吖” ah との縮約形であり、念を押して確める語気をもつ。

嘎[gaa4]は疑問文に使われ、事実を疑問にして聞いたり、ある状況を確認したりする働きを持っている(Wong, 2009: 53)。対応する日本語は「の」「か」だと考えられる。

[3 3] <この前床に落ちていた本を持っている学生に先生が聞く>

先生：呢本書係你嘎？（この本は君のなの？）

学生：係啊。（はい、そうです。）

[3 3] では、先生は「この本」は学生のものなのかに対して確認しているのである。

5.4.3.2. 完了したこと

中嶋はこの終助詞について言及していない。喇可[laa3ho2]は疑問文に使われ、完了したことを確認する機能を持っている。話者はすでに答えを知っているが、もう一度聞いて確認するときに使われる。話者の心の中にはすでに答えがあるため、もし相手の返事が話者が思っていた答えと異なる場合、驚くこともあり得る。対応する日本語は「よね」だと考えられる。

[3 4] <母親が子供に聞く>

母親：你做完功課喇可？（宿題やったよね？）

子供：做完喇。（やったよ。）

[34] では、母親は子供がすでに宿題を終わらせたことを前提にもう一度聞いて確認しているのである。

5.4.3.3. すでに情報を得ている

中嶋 (1981: 27) は呀[aa4]について以下のように述べている。

“呀”はすでに他から情報を得ていて、その事柄について念を押して問うときに用いられる。

呀[aa4]は疑問文に使われ、ある程度の情報を得ていて、そのことについて確かめるという働きを持っている (Wong, 2009: 61)。対応する日本語は「の」「か」だと考えられる。

[35] <Aが友達のBに聞く>

A: 乜你都去留學呀? (君も留学するの?)

B: 係啊, 去留學啊。(うん、留学するよ。)

AはBが留学することについてすでに他の人から聞いていて、そのことについてB本人に聞いて確かめているのである。

5.5. 強い命令、柔らかい命令、注意強調型終助詞

5.5.1. 強い命令

中嶋はこの終助詞について言及していない。喇[laa3]は強く命令する機能を持っている。日本語の「～しろ」「～しなさい」に対応すると考えられる。

[36] <母親が子供に言う>

母親: 唔好再食零食喇! (お菓子食べるのをもうやめなさい!)

子供: 食埋最後一啖! (最後のひと口!)

5.5.2. 柔らかい命令

5.5.2.1. 啦[laa1]

中嶋 (1981: 135) は啦[laa1]について以下のように述べている。

“啦” la は、丁寧な依頼、示唆の語気をあらわす。

啦[laa1]は命令文に使われ、親切な態度で依頼・勧誘・示唆する機能を持っている (Wong, 2009: 49)。日本語の「～しよう」「～してね」「～ないでね」に対応すると考えられる。

[37] <先生が学生に言う>

冇時間喇, 快啲行啦! (時間ないから、速く歩こう!)

5.5.2.2. 啊[aa3]

中嶋はこの終助詞について言及していない。啊[aa3]は前述したように、語気を和らげる機能を持っており、穏やかで柔らかく命令する、依頼する、示唆するときに使われる。日本語の「～してね」「～ないでね」に対応すると考えられる。日本語の「～してね」「～ないでね」に対応すると考えられる。

[38] <すでに登校時間になっているが、子供はまだ出かけていなくて、母親は子供に言う>

母親：快啲出門口啊。(早く出かけてね。)

子供：知道喇。(わかったよ。)

5.5.3. 注意

中嶋はこの終助詞について言及していない。嗶[wo3]が命令文に使われるとき、優しく注意する機能を持っている。日本語の「～してね」「～ないでね」に対応すると考えられる。

[39] <姉が弟に言う>

唔好遲到嗶。(遅れないでね。)

6. 結論

本稿ではシステミック言語学の視点から広東語の終助詞について考察した。『広東語四週間』における終助詞の解釈の訂正を行いながら、広東語の終助詞が(1)感情強調型終助詞、(2)アスペクト強調型終助詞、(3)一般疑問、理由疑問、確認疑問強調型終助詞、(4)、断定、認識強調型終助詞(5)強い命令、柔らかい命令、注意強調型終助詞という5つのカテゴリーに再編されるとの立場から、広東語のシステムネットワークを提案した。Wong (2009)の提案している広東語の終助詞のシステムネットワークをベースとしたものだが、Wong (2009)のシステムネットワークより体系的まとめとなっているのではないだろうか。

また、中嶋（1981）の広東語の終助詞の機能解釈に訂正を加えながら、日本語でどのように訳したらいいのかも提案させていただいたが、これもまた本稿の目的の一つであった。前節で提案した広東語の終助詞と日本語との対応関係を表1にまとめたので参照願いたい。

表1. 広東語終助詞と日本語との対応表

広東語の終助詞	対応する日本語	
もどかしい：囉[lo1]	よ	
反発：喎[wo3]		
いらいら：啣[zek1]	っていうの？、んだよ？	
疑い、驚き：咩[me1]	のか	
じれったい：啦[laa1]	しろよ、してよ	
だけ：啫[ze1]	ただ、だけ	
しかない：咋[zaa3]	しかない	
ためらい：嘅[ge2]	けど	
強い主張：嘅[ge3]	のだ、んだ	
柔らかい主張：咖[gaa3]	のだよ、んだよ	
曖昧：啦[laa1]	まあ	
信じられない：呀[aa5]	よね	
推測：啱[gwaa3]		
完了したこと：喇可[laa3ho2]		
理由：嘛[maa3] / 咁嘛[aa1maa3]	だもん、だもの	
強調：喎[wo3]	ってよ	
不思議：喎[wo4]	って、という	
一般伝聞：喎[wo5]		
一般疑問：咁[aa1]	の、か	
一般疑問：啊[aa3]		
理由：嘅[ge2]		
事実：嘎[gaa4]		
すでに情報を得ている：呀[aa4]		
アスペクト疑問：噃[laa4]		
強い命令：喇[laa3]		しろ、しなさい
柔らかい命令：啦[laa1]		しよう、してね、ないでね

柔らかい命令：啊[aa3]	してね、ないでね
注意：喎[wo3]	
状況の継続を強調する：喇[laa3]	もう～ているよ
状況の完了を強調する：喇[laa3]	もう～たよ
状況の開始を強調する：喇[laa3]	(終助詞の喇[laa3]はアスペクト [開始]を表しそれを強調することに留意し対応する日本語を探す。)
語気を和らげる：啊[aa3]	(啊[aa3]が無感情の語気を和らげて相手とコミュニケーションの意思があることを示す機能を持つことに留意し対応する日本語を探す。)

なお、本研究は、対人機能の視点からの広東語の終助詞分析に限定したが、Wong (2009)によると、広東語の終助詞には観念構成機能及びテキスト構成機能を具現するものがあるという。本研究では観念構成機能及びテキスト構成機能を具現する終助詞の分析できなかった。これは今後の課題としたい。

資料

表2. 広東語の声調表

声調番号	声調名	声調パターン	例字	表記法
第1声	陰平声	高平調	分	fan1
第2声	陰上声	高昇調	粉	fan 2
第3声	陰去声	中平調	訓	fan3
第4声	陽平声	低降調	焚	fan4
第5声	陽上声	低昇調	奮	fan5
第6声	陽去声	低平調	份	fan6
第7声	上陰入声	高促調	忽	fat1
第8声	下陰入声	中促調	發	faat3
第9声	陽入声	低促調	佛	fat6

*広東語には9つの声調がある。声調のパターンは主に高調（高い音調）、中調（平常の音調）、低調（低い音調）に分かれ、さらに、平調（伸びる）、昇調（上がる）、降調（下がる）、促調（短くつまる）4つに分かれる。

参考文献

- Comrie, B. (1976) *Aspect: An introduction to the study of verbal aspect and related problems*. Cambridge University Press.
- Ding, P.S. (2013) From Intonation to Tone —The Case of Utterance-Final Particles “aa” and “wo” in Cantonese. *Modern Linguistics 现代语言学*, 2013, 1, 36-41.
- Leung, W.M. (2010) On the Identity and Uses of Cantonese Sentence-final Particles in the Late 20th Century: The Case of wo (嗰) and bo (嘢). *Asian Social Science*.
- Wong, Y.T.S. (2009) The linguistic function of Cantonese discourse particles in the English medium online chat of Cantonese speakers. *University of Wollongong Thesis Collections*.
- 中嶋幹起 (1981) 『広東語四週間』東京：大学書林.
- Matthews, S., & Yip, V. (2000) 『広東語文法』千島英一と片岡新訳. 東京：株式会社東方書店.